
**メ〜テレ、自社制作ドキュメンタリー「シネマ狂想曲」の
劇場版を制作****番組の舞台「シネマスコール」で上映**

メ〜テレ（名古屋テレビ放送）は、2017年2月1日に放送した自社制作のドキュメンタリー番組「シネマ狂想曲～名古屋映画館革命～」の劇場版を制作し、4月29日（土）からシネマスコール（名古屋市中村区）で上映します。

【タイトル】 『シネマ狂想曲～名古屋映画館革命～』**【作品内容】**

名古屋のミニシアター「シネマスコール」で副支配人を務める坪井篤史氏に密着したドキュメンタリー。映画を愛するゆえに、シネコンではなく映画のことだけに集中できるミニシアターで働く坪井氏。彼は“名古屋を映画で一番熱い地にしたい”と考え、“名古屋映画館革命”という野望を企てている。

彼は映画館革命を成し遂げるため、映画の上映は一切せずに彼のトークだけで進行する「アメカル」と銘打つ映画祭を15年間続けてきた。また、今では生産されていないVHS映画を買い集め、アパートの1室におよそ7000本以上を溜め込んでおり、その部屋の眺めは圧巻！

そんな坪井氏が働くシネマスコールは、手書きのポスターを作ったり、映画にちなんだオリジナルフードメニューの提供など、映画とそれに携わる人々を温かく支えている。だからこそ多くの映画監督達から愛され、「シネマスコールで何か面白いことがやりたい」といった監督達からのオファーが引きもきらない。

昨年末、著名な映画監督・白石晃士氏が坪井氏とタッグを組み、前代未聞の上映会を行った。その名も「超次元絶叫システム」…その驚くべき上映会の内容とは！？

衝撃的な人間の生き様と、それを取り巻く人々との交流…

従来のドキュメンタリーの枠を超えた編集と、竹中直人氏の迫力満点のナレーションでお届けする。

【上映時間】 約60分**【上映場所】** シネマスコール（名古屋市中村区椿町8-12）**【上映日】** 2017年4月29日（土）から3週間～4週間

※詳細スケジュールはシネマスコールにお問い合わせ下さい。

【料金】 1,000円均一



『シネマ狂想曲〜名古屋映画館革命〜』より



竹中直人氏によるナレーション収録の様子

以上